

令和7年度府中市立府中第八中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①難しいことやわからないことに対して粘り強く学習を続けよう意識している生徒の数は多い。また、学習したことを他者の意見を求めながら理解しようとしている生徒の割合が多い。
- ②家庭学習時間が30分～2時間という生徒が多い。
- ③ICT機器を使って調べたり表現しようとする生徒は多いが、家庭でICT機器を利用した調査をする生徒が少ない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①生徒の学習に対する意欲的な態度を生かして、対話や発見を通じたインタラクティブな授業を組み立てていく必要がある。
- ②シラバスを作成して家庭学習の仕方・内容を明示しているが、定着までに至っていない。
- ③授業におけるICT機器の活用について、各教科・教員間で差がみられる。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ①学び合いや話し合い活動などを通じて、自らの考えを説明したり、学んだことを発表することができるようになる。【対話・表現】
- ②家庭学習を通じて、知識の習得だけでなく、課題解決に取り組むことができる。【発見・表現】
- ③ICT機器を活用して調べたことを基に、課題の内容や発表内容を精選することができる。【発見・決定】

(2) 目指す授業像

- ①協働的な学習を推進し、学び合いや話し合い活動を通じて生徒が主体的・対話的に学ぶことができる授業を実践する。【発見・対話・表現】
- ②家庭学習で知識習得だけでなく、課題解決型の課題を通じて、主体的に学習できるようにする。【発見・表現】
- ③授業におけるICT機器の活用を通じて、課題の内容や発表内容を精選する機会の充実を図る。【発見・決定】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・「読むこと」において、筆者の主張を捉えたり、内容から表現の効果を考えたりする活動を充実させる。【対話】 ・単元の学習内容に応じて、自らの考えを文章化し、推敲したうえでスピーチ等の発表を行う環境を作る。【表現】	美術	・身近なものを観察して形や色を写し取る描画の機会を増やし、視覚から情報を掴み取る能力を高める。【発見・表現】 ・班でデザインや問題点を共有する中で、制作手順を提示しながら、個人の作品の課題を解決できるようにしていく。【対話】
数学	・数学の用語や計算方法などの基礎、基本の定着を徹底するとともに、学び合いや話し合い活動を通じ、考えを他者とも共有しながら、自分の考えを説明できるようにする。【対話】	技術	・既習事項を活用した問題解決学習を取り入れ、社会の問題を見出し、課題設定する力をはぐくむ。【発見・決定】
社会	・情報を収集して読み取る活動や、これを基にして考察・判断した結果を表現する活動を行う。【発見・表現】 ・社会的な事実をICTを活用して視覚的に歴史的事象の推移が確認できるようにする。【発見】 ・思考力を高めるために、「なぜ」の発問を増やし、学んだことを活用して取り組むワークシートにする。【発見】	家庭	・教師からの提示を基に、自分で考える場面だけでなく、グループ学習の機会を増やし、学び合うきっかけをつくる。【発見・対話】 ・スモールステップを重ね、基礎・基本の技術を確実に定着させる。【決定・表現】
理科	・基礎・基本を理解させ、身近な事象から疑問を見つけ出し、実験等での対話を通して探求的に学ぶ力を育成する。【発見】【対話】	保健 体育	・学習カードを活用し、相手に伝える書き方を学習したり、課題解決方法等について言語化を図らせる。【表現】 ・単元のねらいや種目の特性を明確に伝え、具体的に課題を認識させる場面設定を増やす。また、単元の中で課題解決に向かわせる時間を確保する。【発見・対話・決定】
音楽	・表現を言語化し伝える力を伸ばすことで、音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合い主体的に表現する力をはぐくむ。【発見】【対話】【表現】	外国語	・基本的な単語・文法の定着が図れる活動を行い、知識・技能を習得できるようコミュニケーションを通して指導をする。【対話・表現】 ・身につけた知識・技能を用いて、英語で表現する様々な場面を設定し、ペアやグループでの機会を多く設ける。【対話・決定・表現】

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

- ・課題解決学習の道具として、調べるだけでなく協働して学習内容をまとめたりわかりやすく発表するために利用する。【発見】【対話】【表現】
- ・eライブラリーを活用して、家庭学習の充実を図り、生徒自ら自分の学習状況の把握ができるようにする。【発見】